

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 函研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <http://www.elwsc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

(氏名) 朝倉 尉
 (氏名) 江口 慎一

TEL 045-624-8111

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	185	△10.1	△18	—	△18	—	△19	—
27年3月期第1四半期	206	△32.0	△41	—	△41	—	△41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.03	—
27年3月期第1四半期	△6.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	764	577	75.5	91.88
27年3月期	863	596	69.0	94.91

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 577百万円 27年3月期 596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	3.9	30	111.3	30	101.1	20	169.9	3.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	6,284,944 株	27年3月期	6,284,944 株
28年3月期1Q	70 株	27年3月期	70 株
28年3月期1Q	6,284,874 株	27年3月期1Q	6,284,931 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期損益計算書関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、6月調査分の日銀短観で大企業を中心に製造業・非製造業ともに景況感が改善したことに表象されるように、加工組立産業の設備投資が活発化し、また円安による物価上昇の影響はあったものの、旺盛なインバウンド効果が追い風となり消費も上向く傾向となりました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、好調な企業業績を背景に、4K対応のネットワークカメラやCMOSセンサー等、新技術・新製品開発投資が拡大するとともに、情報システムの更新需要も増加傾向となりましたが、一方で円安の影響を受ける部品の増加やソフトウェア技術者不足による原価上昇も顕在化してまいりました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェア事業の単一セグメントでの事業形態として、この事業に経営資源を集中的に投下して経営基盤の強化に努めております。その中でIPセキュリティ分野においては、社会情勢を背景に監視カメラ/ネットワークカメラの需要がこれまで以上に高まっており、当社のミドルウェアを新たに採用するお客様が増加傾向になるとともに、車載通信分野においてはEthernet AVB対応ミドルウェアの新製品の販売を開始し、新しい車載ネットワークに向けた技術開発を加速させる等、販路の拡大と製品の拡充に力を注いでまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1億85百万円(前年同四半期比10.1%減少)となり、営業損失は18百万円(前年同四半期は営業損失41百万円)、経常損失は18百万円(前年同四半期は経常損失41百万円)、四半期純損失は19百万円(前年同四半期は四半期純損失41百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、7億64百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加43百万円、仕掛品の増加25百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億70百万円等によるものであります。

負債の部は、1億87百万円となり、前事業年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の減少46百万円、賞与引当金の減少22百万円、未払法人税等の減少9百万円等によるものであります。

純資産の部は、5億77百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少19百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

情報通信・エレクトロニクス業界の各社においては、「モノのインターネット」であるIoT(Internet of Things)の普及期を迎えようとしております。このIoTの本質は相互接続されるモノ(製品)とネットワークを新たに構築していくことに他なりません。そのためIoTの進展に向けてはIPプロトコルに変換するゲートウェイ技術をはじめとする「組込システム」が現在以上に重要な役割を担うことが予見できる状況にあります。

さらに当社が開発を推進してきたファクトリーオートメーションと監視カメラを連携させる技術は、食品加工や機械加工の業界における生産ラインの安全性や信頼性を向上させたいという需要に適合する上、生産性改善への有効性を示すことができるシステムとして商機が広がることを見込まれております。

このような事業環境の中で当社は、「組込コア技術のリーディングカンパニー」としての地位を確固たるものにするべく、通信ミドルウェア製品事業の強化に努めてまいります。

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月11日の決算短信にて開示しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277,466	320,799
受取手形及び売掛金	366,677	196,411
有価証券	63,176	63,180
商品及び製品	31,753	31,656
仕掛品	1,947	27,412
原材料	619	576
前払費用	53,833	56,382
その他	7,193	7,322
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	802,568	703,641
固定資産		
有形固定資産	16,124	16,735
無形固定資産	25,034	24,802
投資その他の資産		
投資有価証券	4,631	4,631
その他	17,442	16,755
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	20,223	19,536
固定資産合計	61,382	61,074
資産合計	863,951	764,715

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,390	24,543
未払法人税等	12,499	2,872
前受収益	65,653	66,360
賞与引当金	45,621	22,992
製品保証引当金	12,738	13,246
その他	44,791	41,891
流動負債合計	252,694	171,906
固定負債		
長期前受収益	1,065	2,088
退職給付引当金	2,998	2,998
その他	10,699	10,279
固定負債合計	14,762	15,366
負債合計	267,457	187,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,202,036	1,202,036
資本剰余金	81,886	81,886
利益剰余金	△687,378	△706,430
自己株式	△49	△49
株主資本合計	596,493	577,442
純資産合計	596,493	577,442
負債純資産合計	863,951	764,715

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
売上高	※ 206,341	※ 185,591
売上原価	103,408	76,562
売上総利益	102,932	109,029
販売費及び一般管理費	144,031	127,101
営業損失（△）	△41,098	△18,072
営業外収益		
受取利息	12	6
受取手数料	46	27
貸倒引当金戻入額	140	—
その他	2	0
営業外収益合計	201	33
営業外費用		
支払利息	18	22
為替差損	361	25
営業外費用合計	379	47
経常損失（△）	△41,277	△18,086
特別利益		
役員退職慰労長期未払金債務免除益	1,029	—
特別利益合計	1,029	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純損失（△）	△40,247	△18,086
法人税、住民税及び事業税	984	984
法人税等調整額	△201	△19
法人税等合計	783	965
四半期純損失（△）	△41,030	△19,051

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 売上高の季節的変動

当社の売上高は、通常の営業形態として、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に完了する業務の割合が多いため、四半期会計期間毎の売上高に季節的変動があります。